

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピネス		
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 28日		～ 令和 7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 18日		～ 令和 7年 1月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童への本人支援について、適切な信頼関係の構築し、本人のレベルや利用当日の体調に合わせた個別支援を行った結果、利用児童の満足度が高いこと。	適宜、各利用児童に関する情報を職員全員に共有し、適切な対応を考えることで、ご本人への接し方、取組内容と時間の調整を行っています。	引き続き各利用児童の状況を考慮し、適宜、職員間で話し合っって微調整を行いながら、将来の自立した生活を送ることが出来るよう支援を行っていきます。
2	清潔で集中しやすい環境を構築し、各利用児童が取組に専念できるようにした結果、利用児童の満足度が高いこと。	感染症予防のため、使用前後のアルコール消毒、適切な気温、湿度に保つための空調、次亜塩素酸水を使った加湿器の使用、密を避けるための利用開始時刻の調整、学習と知育ゲームを行う部屋の区分けなどを行っています。	取組スペースをより広く確保できるよう、必要に応じて備品の整理や配置を考えて実行していきます。 ※直近だと絵本の整理を行い、本棚を減らすことを予定しています。
3	当事業所での取組やご本人の様子等について連絡帳ノート、SNS等を通じて保護者の方へ共有することで、保護者との情報共有、疑問点に対する説明対応等ができています。	当事業所を利用するたびに、ご本人の様子などを連絡帳ノートへ記入し、保護者の方にご覧いただいています。また、そのノートを通して普段の取組について保護者からご意見をいただき、取組内容に調整をいれています。 その他、SNSを使用して気軽に連絡がしやすい体制をとっています。	引き続き連絡帳ノート、SNSなどを通じてご本人の様子について発信を行っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり（保護者同士のつながりも含）を意識した活動があまりできていないこと。	必要に応じて他事業所、障がい児相談支援事業所との連携を行っています。他の社会資源との交流や連携、保護者同士の交流の機会などを作ることがあまりできていません。	地域の公民館を利用したイベントの企画、保護者同士で話す機会を設けるなど、外部とのつながりを少しずつ広げていくことを考えています。
2	保護者への支援について、保護者への情報提供があまりうまくいっていないこと。 ※保護者支援に関する認識について、当事業所と保護者との間で差異があります。	保護者の方からの療育に関するご相談をうけ、助言等を行っていますが、そのことが「ペアレントトレーニング」という言葉につながっていないようです。	ペアレントトレーニングとは何か？ということについて、保護者の方へ情報を提供するとともに、療育に関連する研修や社会資源など情報を提供することが必要だと考えています。
3	当事業所の情報（各種マニュアル、災害対策、年間の行事予定など）について発信があまりできていないこと。	月間行事としてイベントの2カ月前に周知行っているため、年間を通してイベントをいつ、何をするのが不明瞭であることが考えられます。また、その他の情報については、周知が必要だと捉えていなかった（各種マニュアル）、閲覧資料として設置しているが閲覧回数が少ないためあまり知られていないといった状況が考えられます。	閲覧資料の充実とより気軽に閲覧しやすい場所への再設置、月間行事だけでなく、年間行事（避難訓練等も含め）の周知が必要だと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハピネス				公表日	令和 7年 1月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	極力、物を置かないようにするため、ローリングストック、定期的な整理を行っている。	取組、知育ゲームのスペースを拡充するため、引き続き定期的な整理整頓を行う。また、折り畳み机などの使用を検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	加配に加えて指導員を1名、人が多い時に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	取組を行う部屋と知育ゲーム等で遊ぶ部屋を区切って運用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の掃除、アルコール消毒、次亜塩素酸水の加湿、手洗いの声掛け等を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		※保護者評価を第三者評価と認識して回答 第三者評価について、適宜、導入について検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	適切に支援プログラムを作成、実施できているが、公表について令和7年2月頃を目安に行う予定です。	令和7年1月31日に公表を行いました。 支援プログラムについては、適宜、見直しを行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		インフォーマルな部分の情報が点在してデータ化されているため、定期的にとまとめていく予定です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	他事業所、障がい児相談支援事業所などと連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	直近だと、インフルエンザによる学級閉鎖の情報などを共有した。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	保護者を通して情報を共有していただいている。	未就学児のご利用検討の際に情報を収集しながら、必要に応じて連携して情報を共有するよう行動していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	当事業所が始まってから高校を卒業した利用児童がいません。まだ、学校卒業の利用者がいません。	令和6年度に初めて利用児童の中から高校卒業生がでるため、保護者に確認のうえ、必要に応じて情報を共有していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		情報収集が出来ていなかったため、今後は放デイ向けの研修（9月頃）の情報などを収集、受講する予定です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		地域の方たちとの交流ができるよう、すのこ公民館でのイベント企画などを考えていく予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		障がい児相談支援事業所との連携を適宜行っており、必要に応じて基幹相談支援センターとも連携することを考えています。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳ノートを通して、ご利用ごとに情報を共有しています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者の方や、ご兄弟姉妹など家族の方も参加できるイベント企画を考えていく予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	発達ナビ、ブログなどを通して発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域の方たちとの交流ができるよう、すのこ公民館でのイベント企画などを考えていく予定です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	食物アレルギーの子ども無アレルギーの子がいいため対応なしアレルギーのある利用児童がいませんが、事前情報として利用開始前に必ず確認をしています。	引き続き事前情報としてアレルギーの情報を収集するのに加え、該当の利用児童が新規利用となった際は、医師の指示書の有無などについて確認を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	いつでも閲覧可能な冊子を用意しており、その中に安全計画関連の資料を入れています。	さらに閲覧しやすいよう冊子の場所を変更する、安全計画に関する情報を年間イベント表などとともに周知する予定です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	4	今まで、事例の発生がありません。ヒヤリハットが発生したことがない。	引き続き、既存の研修の中でヒヤリハットに関する情報を職員全員で確認いたします。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3	今まで、事例の発生がないため計画書への記載をしたことがありません。研修等で身体拘束について周知は行っています。	引き続き、既存の研修の中で身体拘束の適正化、虐待防止に関する情報を職員全員で確認いたします。	